

■授業の目的及び到達目標

技術・家庭科、技術分野の教育課程、指導内容・方法等について、理解するとともに、教材作成・開発、学習指導案の作成、模擬授業の実践、事例研究等を通して実践的な知識・技術の習得と技術科の授業における実践力の育成を図る。技術分野の授業について、実際の授業場面を想定し、指導計画を策定し、教材を開発できるようにする。また、学習指導案を作成し、模擬授業等を通して授業を実践できる力を習得することを到達目標とする。

■授業計画

- 1 教材開発の意義
技術教育における教材開発の意義について解説する。
- 2 材料と加工の教材開発 1
「材料と加工に関する技術」について、テーマを定めて教材開発を行う。
- 3 材料と加工の教材開発 2
「材料と加工に関する技術」について開発した教材に基づいて、学習指導案を作成する。
- 4 エネルギー変換の教材開発 1
「エネルギー変換に関する技術」について、テーマを定めて教材開発を行う。
- 5 エネルギー変換の教材開発 2
「エネルギー変換に関する技術」について開発した教材に基づいて、学習指導案を作成する。
- 6 情報の教材開発 1
「情報に関する技術」について、テーマを定めて、教材開発を行う。
- 7 情報の教材開発 2
「情報に関する技術」について開発した教材に基づいて、学習指導案を作成する。
- 8 生物育成の教材開発 1
「生物育成に関する技術」について、テーマを定めて教材開発を行う。
- 9 生物育成の教材開発 2
「生物育成に関する技術」について開発した教材に基づいて、学習指導案を作成する。
- 10 研究協議
第2回～第9回までに開発した教材について、発表し、研究協議と相互評価及びフィードバックとしての講評を行う。
- 11 技術分野における授業の実際 1
教室での授業を想定した模擬授業を通して技術科の学習指導を実践し、相互評価と研究協議及びフィードバックとしての講評を行う。
- 12 技術分野における授業の実際 2
コンピュータを使用した授業を想定した模擬授業を通して技術科の学習指導を実践し、発問の技術について相互評価と研究協議及びフィードバックとしての講評を行う。
- 13 技術分野における授業の実際 3
電子黒板を活用した模擬授業を通して技術科の学習指導を実践し、相互評価と研究協議及びフィードバックとしての講評を行う。
- 14 授業改善
教育研究の動向を解説し、発展的な学習を取り扱うなど授業改善に向け、研究協議を行う。
- 15 学修のまとめ
学修のまとめとして論述形式の試験を行い、フィードバックとして解説する。

■授業の方法

毎回テーマを定めて、教科書、資料を活用しながら講義及び課題解決学習を行う。実習、教材作成、演習、模擬授業、研究協議など学習を多く取り入れ、実践的な学びを重視する。学習指導案を作成し、模擬授業を実施する。

■予習・復習

- ・復習として、教材や指導計画作成の課題を行い、授業で発表する。
- ・予習として、学習指導案を作成し、模擬授業の準備を行う。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

論述形式の試験を行い、到達度を評価する。模擬授業の実施状況、学習指導案の作成状況を評価する。試験60%、学修への取組状況（模擬授業、学習指導案作成等）40%

■教科書・参考書

参考書：文部科学省「中学校学習指導要領解説－技術・家庭編－」を使用する。

■関連する科目

「技術科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を履修しておくことが望ましい。「教育実習（事前・事後指導）」及び「教育実習Ⅰ・Ⅱ」の履修につなげていく。

■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）

担当教員は、東京都公立高等学校に37年間勤務し、進路指導・生活指導・学校改革・研究活動に関する分野に研究実績を積んできており、それを本科目の指導に生かしていく。